

自己採点表（新商品・サービス開発実証支援事業）

番号	審査基準	満点	自己採点	県採点	備考
1	プラットフォームへ参画（加入）しているか。	5			
2	食品等事業者と農林漁業者の参画を必須として、食料システムの各段階（生産・加工・流通・小売り・消費）の多様な事業者や関係者が連携した取組であるか。	10			
3	地域の課題を的確に捉え、その課題を踏まえた事業目的や課題解決につながる内容になっているか。	10			
4	地域の食資源の付加価値向上や食料システムの持続性の向上に寄与することが期待できるか。	10			
5	プロジェクトに参画する事業者の経営資源や知見の組合せにより、新たなイノベーションの創発が期待できるか。	5			
6	プロジェクトの経費が内容に見合ったものであり、その経費で達成される最大の効果を期待できるか。	5			
7	ビジネスモデルが具体化され、マーケットインの視点（誰に、どのような価値を、どのように提供し、なぜ利益に繋がるのか）を備えているか。	10			
8	プロジェクトに参画する事業者の遊休施設の活用や共同配送など事業を効率化する工夫があり、農林漁業者の利益を確保できる見込みがあるか。	10			
9	単発的な活動ではなく、事業の継続性は期待できるか。	5			
10	3～5年後の定量的な目標を設定し、達成に向けた実現性が見込めるか。	5			
11	プロジェクトアイディア等について、これまでのみやぎ L F P 研修会等で発表した内容に関連性があるか。	5			
12	プロジェクトの構成員の食品等事業者が、食料システム法に基づく計画の認定を受けた事業者を含むか。また計画認定を受ける意思を有し、当該認定を受けることができる見込まれるか。	10			
13	他の施策と連携している取組か（該当にチェック）。 ☐ 農商工等連携事業計画の認定事業者（2点） ☐ 地域未来牽引企業（2点） ☐ パートナシップ構築宣言（2点） ☐ みどりの食料システム戦略による環境負荷低減（2点） ☐ 六次産業化・地産地消法の総合化事業計画の認定事業者（2点）	10			
合計		100			

自己採点表（ブラッシュアップ支援事業）

番号	審査基準	満点	自己採点	県採点	備考
1	プラットフォームに参画し、プロジェクトに取り組んできたか。	15			
2	事業に取り組むことで農林漁業者と食品等事業者との安定的な取引を確立する等、更なる連携強化が期待できるか。	15			
3	開発した商品・サービスが抱える課題を適切に捉えているか。	10			
4	地域の食資源に着目した取組であり、本県の農林水産物の付加価値向上に寄与することが期待できるか。	10			
5	ビジネスの要素（マーケットインの視点：誰に、どのような価値を、どのように提供し、利益に繋げるのか）を備えているか。	10			
6	事業費が事業内容に見合ったものであり、その経費で達成される最大の効果を期待することができるか。	10			
7	単発的な活動ではなく、事業の継続性は期待できるか。	10			
8	当事業により販路拡大や売上増等が期待できるか。	10			
9	プロジェクトの構成員の食品等事業者が、食料システム法に基づく計画の認定を受けた事業者を含むか。また計画認定を受ける意思を有し、当該認定を受けることができるかと見込まれるか。	10			
合計		100			

自己採点表（機械・施設整備支援事業）

番号	審査基準	満点	自己採点	県採点	備考
1	プラットフォームに参画し、プロジェクトに取り組んできたか。	20			
2	開発した商品・サービス等の課題を適切に捉えた事業の目的を設定しているか。	20			
3	機械・施設を導入することにより、事業の目的の達成が期待できるか。	20			
4	事業費や導入する機器・施設が事業規模に見合ったものであり、その経費で達成される最大の効果が期待できるか。	15			
5	単発的ではなく、導入後の事業の継続性が期待できるか。	15			
6	プロジェクトの構成員の食品等事業者が、食料システム法に基づく計画の認定を受けた事業者を含むか。また計画認定を受ける意思を有し、当該認定を受けることができると見込まれるか。	10			
合計		100			